

研究課題別事後評価結果

1. 研究課題名： 生体膜組成を介した細胞外脂肪族化合物の機能

2. 個人研究者名

岩間 亮（東京大学大学院農学生命科学研究科 助教）

3. 事後評価結果

糸状菌研究において、細胞内脂質に関する研究は多くない。本 ACT-X 研究では、脂質合成、局在解明をリアルタイムに明らかにしようと精力的に研究を推進した。これまでの研究から、培養条件、経時変化による脂質組成の違いを明確にし、さらに、脂質組成をリアルタイムに解析する技術基盤も構築しつつある。糸状菌は麹菌など有用な微生物にも関わらず、酵母に比べ、このような基礎研究がこれまで進んでいなかった。これは、糸状菌が多細胞生物であることが、大きな理由である。本研究において、極めて大変な作業（経時的なサンプリング、解析など）を果敢に進め、真核生物における生体膜の新たな機能を世界に先駆けて見出し、論文発表、プレスリリースなど着実に成果に結びつけている点も高く評価できる。

また、領域内では他のメンバーと有機的に連携し、グループミーティングを数多く実施し、また外向けには学会共催シンポジウムを企画するなど、当領域内外のネットワーク構築にも大きく貢献した。今後は ACT-X での成果を踏まえ、人的ネットワークを活かし、学術的に意義の高い成果を目指すと共に、将来のモノ作りにつながることも期待している。